

平成 24 年 6 月 1 日

株 主 各 位

東京都千代田区丸の内一丁目 11 番 1 号
マネックスグループ株式会社
代表取締役会長兼社長 松本 大
(コード番号 8698 東証第一部)

招集通知記載事項の一部修正について

当社「第8回定時株主総会招集ご通知」の記載事項の一部に修正すべき点がございましたので、お詫び申し上げますとともに、下記のとおり修正させていただきます。

記

修正箇所

「事業報告」(4ページ)
(修正箇所の下線を付しております。)

【修正後】

1. 企業集団の現況に関する事項

(1) 事業の経過およびその成果

(セグメント別の概況)

当連結会計年度より海外における事業の重要性が増したため、「日本」、「米国・欧州・豪州」および「香港」を報告セグメントとしました。

①日本

個人売買代金の減少により受入手数料は11,005百万円(同15.7%減)、FXビジネスが堅調に推移した結果トレーディング損益は5,106百万円(同8.1%増)となりました。その結果、営業収益は23,300百万円(同7.1%減)、純営業収益は20,756百万円(同7.5%減)となりました。

一方、販売費・一般管理費は前期より費用削減を行った結果16,942百万円(同4.4%減)にとどまりましたが、純営業収益の減少を補えず、セグメント利益(営業利益)は3,815百万円(同19.1%減)となりました。

【修正前】

1. 企業集団の現況に関する事項

(1) 事業の経過およびその成果

(セグメント別の概況)

当連結会計年度より海外における事業の重要性が増したため、「日本」、「米国・欧州・豪州」および「香港」を報告セグメントとしました。前期比較においては、前期実績をすべて「日本」として比較しております。

①日本

個人売買代金の減少により受入手数料は11,005百万円(同15.7%減)、FXビジネスが堅調に推移した結果トレーディング損益は5,106百万円(同8.1%増)となりました。その結果、営業収益は23,203百万円(同7.5%減)、純営業収益は20,756百万円(同7.6%減)となりました。

一方、販売費・一般管理費は前期より費用削減を行った結果16,942百万円(同17.8%減)にとどまりましたが、純営業収益の減少を補えず、セグメント利益(営業利益)は3,815百万円(同18.9%減)となりました。

以 上